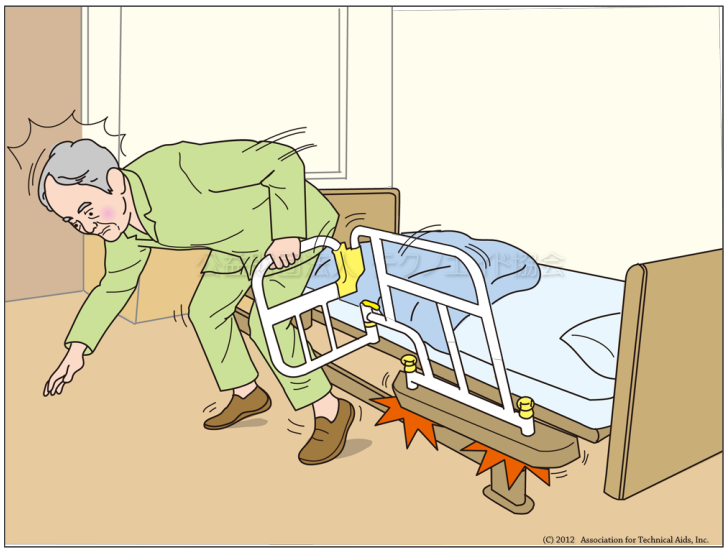
Case：46

ベッド用グリップにガタツキが生じ、利用者がバランスを崩し、転倒しそうになる

場面の説明

差し込み口のねじがゆるみ、ベッド用グリップをつかんだ際、前のめりになった



利用シーン	起居・就寝 立ち座り
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台付属品
分類コード (CCTA95)	181227 (ベッド用サイドレール，ベッド固定式起き上がり手すり)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

ベッド用グリップを差し込む受け口は、日常的に取り外しなどのねじの操作をする部分ではありませんが、使用頻度などの条件によってはねじがゆるむことも考えられます。また、設置時のねじの締め忘れも考えられます。ちょっとしたガタツキでも気になる点があれば、メンテナンスを依頼するよう心がけてください。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：ガタツキが生じていることに気づかない
モノ：使用によって緩みやすい構造のネジであった
管理：定期的に締め付け具合等を確認する約束事が作られていない

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.